

第 137 回 19 世紀の欧米思想

1 哲学

- ・哲学では、ドイツ観念論、弁証法哲学、功利主義、実証主義（哲学）、実存主義（哲学）など、様々な思想が登場した。
→物事の現実を、科学的法則によって考察するという風潮が盛んとなった。

<ドイツ観念論>

() …ドイツの哲学者。合理論と経験論を総合し()
を創始した。『 』。

() …ドイツの哲学者。ナポレオンの占領下で、ドイツ人の国民意識を高めた講演は、「 」と呼ばれる。

シェリング …ドイツの哲学者。実存哲学に影響を与えた。

() …ドイツの哲学者。() 哲学を提唱し、ドイツ観念論を完成させた。

フォイエルバッハ …ドイツの哲学者。存在が認識を規定するという唯物論を主張。

() …ヘーゲルやフォイエルバッハの影響から、弁証法的唯物論により歴史の発展法則を解明しようとする()
を確立した。その思想はマルクス主義と呼ばれる。
『 』(エンゲルスと共著)、『 』



カント

近代において、最も影響力の大きい哲学者のひとり。自らの哲学を、「コペルニクス的転回」と評したことでも知られる。規則正しい生活習慣で有名だった。



フィヒテ

第 117 回のプリントを見よう。入試では「ドイツ国民に告ぐ」ばかりが問われるが、本職はドイツ観念論の哲学者である。ベルリン大学の初代総長。



ヘーゲル

ショーペンハウエルと同じ時期にイェナ大学で講座を持った。弁証法とは、肯定と否定の対立を経て、より豊かな次の段階に進むという考え、だと私は理解しています。

<その他の哲学>

() …フランスの哲学者。() 哲学を提唱し、歴史的
問題も、科学的に法則で説明できるとした。社会学の創始者。

ハーバート・スペンサー …イギリスの哲学者。進化論の概念を諸分野に適用し、社会進化論を提唱した。

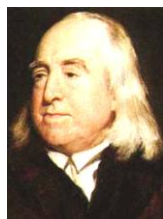
() …イギリスの哲学者、経済学者。() を創始した。
「 」という言葉で知られる。

() …イギリスの哲学者、経済学者。ベンサム
の功利主義を発展させた。古典派経済学の完成者でもある。



コント

カントとまぎらわしいが、こちらはフランス人。実証主義とは、経験した事実のみ、認識の根拠を与えるという考えである。



ベンサム

「インターナショナル」という言葉は、彼が創った言葉である。ちなみに遺体は遺言により、ロンドン大学の棚に保管されている。ただし頭だけは蠟で作られたレプリカ。



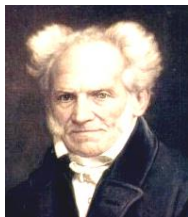
ジョン・ステュアート・ミル

父親の強烈なスパルタ教育により、大人でも真似できないような知識を持つ少年だった。ただしその反動から20歳でうつ病になった。晩年には女性参政権を主張した。

ショーペンハウエル …ドイツの哲学者。厭世哲学（ペシミズム）を説いた。

キェルケゴール …デンマークの哲学者。実存主義（哲学）の先駆者とされる。

() …ドイツの哲学者。超人を理想的な人間像とした。『ツァラトゥストラ（はかく語りき）』で「神は死んだ」と述べた。



ショーペンハウエル

「世界の本質は盲目的な生きようとする意志である」と述べた。「読書とは他人の頭を借りて考えること」という言葉がある。



キェルケゴール

実存主義とは、人間の現実的な存在を、哲学の中心に置く考えである。「絶望は死に至る病である」は名言。



ニーチェ

「神は死んだ！神は死んだはまだ。そして我々が神を殺したのだ。」晩年には精神が崩壊した。

2 経済思想

・経済学では、() の流れを組む() に属する経済学者が、自由主義経済を主張した。

() …イギリスの古典派経済学者。アダム＝スミスの労働価値説を発展させ、商品の価値は労働の量によって決まると説いた。

() …イギリスの古典派経済学者。『 』の中で、人口の増加が貧困の原因と説いた。

() …ドイツの経済学者。古典派経済学の自由貿易を批判し、関税による保護貿易を説いた。1834 年、() を提唱した。



リカード

自由貿易を主張し、19 世紀イギリスの経済政策に大きな影響を与えた。元々はユダヤ人の家計に生まれたが、信仰は否定している。



マルサス

人口が減れば、貧困は解決されると主張した。最近地球の人口が増えすぎているので、再びマルサスの論が注目を集めている。



リスト

歴史学派経済学の先駆者。ドイツ人の国の間では自由貿易、ドイツ人以外の国とは保護貿易を行うことを提唱した。第 126 回を見よう。

3 歴史学

・それまでの教訓的な歴史学ではなく、厳密に史料を調査して、正確な史実を明らかにしようとする近代歴史学が登場した。

() …ドイツの歴史家。近代歴史学の創始者にして確立者。

ドロイゼン …ドイツの歴史家で民族主義者。() という用語を初めて用いた。フランクフルト国民議会に参加。

ギゾー …フランスの歴史家。七月王政で首相を務めたが、1848 年の() の際に失脚した。

サヴィニー …ドイツの法学者。歴史法学の創始者。自然法を批判した。



ランケ

歴史学にたずさわるものなら、知らない人はいない。ゼミナール(略してゼミ)という形式の授業を始めたのもランケである。



ドロイゼン

ギリシア文明とオリエン文明の融合、いわゆるヘレニズムという用語は彼が創った。ただしアレクサンドロスの征服を、文明化ととらえることには批判もある。



サヴィニー

歴史法学とは、「一国家の法律は、その国の歴史や伝統から生まれ、発展するものである」という考え。